



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会

〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知保険医会館内
TEL ; (052) 832-1349
FAX ; (052) 834-3584

5万筆を目標に！2月末現在 **8,893** 筆集約中！ 「保険でより良い歯科医療」の実現を求める請願署名

愛知連絡会では、「保険でより良い歯科医療」の実現を求める請願署名に取り組んでいます。取り組み期間は6月末まで、必達5万筆が目標です。

前回の2021年度の実績では、愛知連絡会として35,946筆、目標に対して59.91%の達成率でした。全国では26万4,174筆を集約しました。

2月末現在の愛知連絡会の集約数は、8,893筆。前回同時期5,789筆に比べ3,104筆多い集約状況です。取り組み始めが早く、多くの皆さんにこの署名が届いていることを実感しています。各団体での取り組みをお伝えしますので、様々な工夫で目標達成を目指しましょう！

また、3月19日(日)には、栄・三越前で市民の皆さんに訴える街頭宣伝を行います。それ以降も街頭宣伝を計画しますので、ぜひご参加をお願いします。

寄せられた各団体での取り組み

北生協歯科 患者さんへの声掛けを行っています、単なる声掛けでは1人分しか書いてもらえないので意思統一と工夫を検討！

みなと歯科 リコールハガキに署名を刷り込んで送付、また手渡しする場合には透明封筒にスタッフの顔が分かる集合写真も同封しています。

江原先生 診療所で取り組んでいる他に、いつも年賀状を出している人に署名・パンフを送付。また新しくご近所さんにも声掛け。数をあたらないと署名の数が伸びないため、誰にでも渡せるように鞆にいつも署名セットを入れています。

大藪先生 院長からのお手紙を付けて患者さんに署名を送付して依頼しています。

保険医協会 必達4万筆を目標に！「例年の1.5倍の取り組みを」を合言葉に歯科部員を中心に取り組み。歯科の先生に加え、医科での取り組みも。卓上POPやポスター、院内で流す動画、ホームページでの案内など様々な工夫をして、新たに取組む会員を増やせるよう取り組んでいます。

**はがき署名入りポケットティッシュ
準備しています
ぜひ活用ください！**

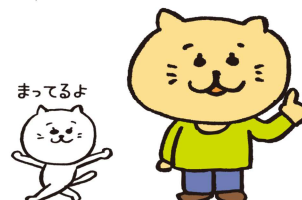
100個入、250個入を準備

署名回収箱と卓上POPなどを一緒に
送付しますので、受付に置いておく
だけでOKです！



3月19日(日) 10:30~11:30、栄・三越前で街頭宣伝を行います。参加可能な方は事務局まで

署名・リーフなどご希望の場合は⇒052-832-1349まで



2つの講座でお口の重要性を伝える～江原会長が講師～

あいち高齢者大会では署名130筆を集約

12月15日(木)、「第23回あいち高齢者大会～豊かな高齢社会をめざす県民のつどい」が名古屋市公会堂で開催されました。「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会は、午後1時30分から行われた分科会「お口の健康管理始めてみませんか」を担当し、江原連絡会会長を講師として派遣しました。分科会では、「口は健康の入り口『歯の格差は命の格差に』」の演題で講演を行い、講師を含めて8人が参加しました。

江原氏は、マスク生活で口呼吸となる人が増えていますが、口呼吸は口臭や虫歯、歯周病の原因となり、ウイルス感染のリスクも上がると注意を呼びかけ、鼻呼吸に切り替えていくための方法として、「あいうべ体操」などを紹介しました。また、戦前などと比べても食事で噛む回数が減っているとして、よく噛むことは脳への刺激や血流を改善すること、唾液を湧出させることで免疫力が上がることなどを紹介しました。健康な生活をおくる上でも、セルフケアである歯みがきをしっかり行うこと、かかりつけ歯科医で定期健診や口腔ケアを受けることを勧めました。

分科会の最後に、窓口負担が高く受診できない人たちがいることや、定着している治療技術や材料でも保険が効かないものがあること、それらが国の低歯科医療費政策によるもので歯科医療費の総枠拡大が不可欠であるとして、現在連絡会も取り組んでいる「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名への協力を訴えました。全体会などへの参加者にも協力を求め、130筆の署名を集約しました。



学校事務職員のみなさんにWEBを通して訴え

2月4日(土) 午前中に中区・新栄の愛知県教育会館7階第3会議室で健康講座を開催しました。今回の健康講座は、愛知県学校事務職員組合愛日支部の要請によるもので、テーマは「口は健康の入り口『歯の格差は命の格差に』～お口の健康管理始めてみませんか～」で、講師は江原雅博連絡会会長が務めました。現地およびWebで約50人が参加しました。

講師は講演のはじめに、コロナ禍の中、マスク生活により口呼吸が増えているが、鼻呼吸を意識するよう呼びかけ、「あいうべ体操」などを紹介しました。その後、口腔崩壊の事例や、年々、大人の虫歯が増えている統計などからセルフケアとしての歯みがき、プロフェッショナルケアとしての定期的な歯科受診の重要性を訴えました。

講演の最後には、歯科医師の中にもワーキングプアが生じていることや歯科衛生士・歯科技工士などの置かれている現状を伝え、患者の窓口負担の軽減、保険適用範囲の拡大、歯科医療費の増額など、現在取り組んでいる「保険でより良い歯科医療の実現を求める」請願署名への協力を訴えました。

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会第17回総会 今からご予約ください！

日時：2023年5月28日(日) 10:30～12:00 会場：愛知県保険医協会伏見会議室ほか
記念講演は、岩下明夫先生(全日本民医連副会長・歯科部長)に、「口腔崩壊は自己責任ですか? ～人権としての歯科医療」(仮)をテーマにお話いただきます。